

鎮咳剤

フスタゾール® 散10%

クロペラスチンフェンジゾ酸塩散

HUSTAZOL® POWDER 10%

貯法：室温保存

使用期限：外箱及び内袋に表示の使用期限内に使用すること

承認番号	21400AMZ00241
薬価収載	2002年7月
販売開始	1966年1月
再評価結果	1976年10月

【組成・性状】

有効成分 (1g中)	クロペラスチンフェンジゾ酸塩 177mg (クロペラスチン塩酸塩として100mgに相当)
添加物	乳糖水和物, トウモロコシデンプン
性状・剤形	白色の散剤

【効能・効果】

下記疾患に伴う咳嗽

感冒, 急性気管支炎, 慢性気管支炎, 気管支拡張症,
肺結核, 肺癌

【用法・用量】

クロペラスチン塩酸塩として, 通常成人1日30~60mg
(本剤として300~600mg; クロペラスチンフェンジゾ酸
塩として53.1~106.2mg)を3回に分割経口投与する。小
児にはクロペラスチン塩酸塩として, 1日2歳未満
7.5mg(本剤として75mg), 2歳以上4歳未満7.5~15mg
(本剤として75~150mg), 4歳以上7歳未満15~30mg
(本剤として150~300mg)を3回に分割経口投与する。
なお, 年齢, 症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる
調査を実施していない。

種類	頻度	頻度不明
精神神経系	眠気	
消化器	悪心, 食欲不振, 口渇	

2. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量す
るなど注意すること。

【薬物動態】

〈参考〉動物における薬物動態

- (1) クロペラスチンフェンジゾ酸塩をラットに経口投与
した場合, 組織内濃度は2時間後に最高値を示し,
24時間後にはほとんど認められない¹⁾。
- (2) クロペラスチンフェンジゾ酸塩をラットに経口投与
した場合, 3日以内に尿中に25%, 糞中に70%が排
泄される¹⁾。

【薬効薬理】

動物での作用

1. 機械的刺激法による鎮咳作用は, モルモットではコデ
インリン酸塩水和物より強力であり²⁾, イヌではコデ
インリン酸塩水和物よりやや弱い。
作用機序は, 求心路並びに遠心路には作用せず, 咳中
枢に直接作用するものと考えられている³⁾。
2. モルモット摘出気管支筋を用いた実験で, パパペリン
と同程度の気管支筋弛緩作用と緩やかな抗ヒスタミン作
用を示す³⁾。

【有効成分に関する理化学的知見】

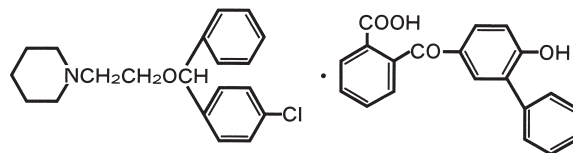
一般名：クロペラスチンフェンジゾ酸塩,
Cloperastine Fendizoate (JAN)

化学名：1-[2-(*p*-chloro- α -phenylbenzyloxy)ethyl]piperi-
dine 2-[(6-hydroxy-(1, 1'-biphenyl)-3-yl)carbonyl]
benzoate

分子式：C₂₀H₂₄ClNO · C₂₀H₁₄O₄

分子量：648.20

構造式：



性状：白色～淡黄色の結晶又は結晶性の粉末で, にお
いはない。イソプロピルアミンに溶けやすく,
酢酸(100)に溶けにくく, 水, メタノール, エ
タノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど
溶けない。

融点：185~189℃

【包装】

フスタゾール散10%：500g

【主要文献及び文献請求先】

1. 主要文献

- 1) 加藤安之 他：応用薬理 1971；5(5)：735-739
- 2) 高木敬次郎 他：薬学雑誌 1961；81(2)：261-265
- 3) 高木敬次郎 他：薬学雑誌 1967；87(8)：907-914

* 2. 文献請求先

ニプロ株式会社 医薬品情報室

〒531-8510 大阪市北区本庄西3丁目9番3号

TEL：0120-226-898

FAX：06-6375-0177

**
**



NIPRO

製造販売

ニプロESファーマ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号